

児童発達支援 放課後等デイサービス

ハレノヒ

支援プログラム

作成年月日：令和7年2月5日

支援理念：「できた！」を笑顔と自信に
～カラフルな未来へ～

- 支援方針：
- ・体験を通して失敗をおそれずチャレンジし、成功体験につなげます。
 - ・一人一人の個性を大切に自分の色を伸ばせるよう、サポートします。
 - ・自分の足で歩いていけるよう、寄り添い共に成長していきます。

営業時間：9:00～17:30(月～金)
送迎実施の有無：送迎あり(児発・放デイ共に)



健康状態

〔健康・生活〕

定期的な心身の把握（毎日の体温測定・気分把握）を行います。障害の特性に配慮し、きめ細かな観察を行い、活動スケジュールを絵カードや文字で提示し、見通しを持って活動に参加できるように生活に必要な基本的技能を獲得できるように支援していきます。

- ・衣類の着脱、身だしなみ、トイレトレーニング、クッキングを通し食育

〔運動・感覚〕

集団遊びやダンスなどを通して日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持など習得を目指します。

視覚、聴覚等の感覚を十分に活用できるよう遊びを通して支援していきます。

- ・ダンス、指先トレーニング、ビジョントレーニング、製作活動
おやつ時のお買い物訓練（支払い訓練）



心身機能

構造



活動

〔認知・行動〕

視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分活用し、必要な情報を収集し、認知機能の発達を促す支援を行います。

- ・ブロックなどを使った創作活動
- ・音楽などを使って脳を刺激する活動。
- ・水害、火災時想定の避難訓練



〔言語・コミュニケーション〕

具体的な事、体験と言葉の意味を結びつける。言語の習慣・児発的な発声・表現（手話・ハンドサイン）を促し、指差し、身振りや簡単な手話等を用いて環境の理解と意思の伝達ができるように支援します。遊びや製作の中で文字を読んだり、書いたりする機会を作っていきます。



参加

〔人間関係・社会性〕

人との関係を意識し、コミュニケーションを図りながら信頼関係を形成していく支援を行います。

集団に参加するための手順やルールを理解し遊びや集団活動に参加できるように支援します。



家族支援

家族が安心して子育てできる様に、家族の負担を軽減していくための支援を行います。また、兄弟の支援も行います。

茶話会を開催し障害者の事業所の見学を実施したり、親御さん同士の交流の場を深めたり意見交換の場の提供をしています。



移行支援

当社の保育園との交流や障害者事業所との利用者と交流しています。

また、移行において必要な関係機関等と連携を図ります。



地域支援

地域連携

当社の保育園の園児と共有スペースである園庭で一緒に遊び交流することが出来ます。

当社の保育園だけでなく、地域のこども園、学校での様子を各関係機関と情報共有し連携を行っています。



職員の質の 向上

(内部研修)

ハラスメント研修 虐待防止研修 感染症対策研修
災害（風水害・火災）研修

(外部研修)

外部研修や他事業所での見学・研修等で学びの時間を作っています。また、外部研修で学んだことを職員間で情報共有を行っています。

体験等

〈体験〉

玄武洞ミュージアム体験 勾玉作り 外食 木エクラフト体験
市役所での販売学習 パン作り体験 城崎散策 土偶作り コマづくり
職業体験（ハニカムソラさんで） 鞆づくり体験 モンゴル博物館体験
そば打ち体験



〈イベント〉

お楽しみ会 ハロウィンパーティ クリスマス会 初詣 節分

クッキング（フルーツポンチ・クッキー・お好み焼き・ソーメン・ホットドック）

おにぎり（災害訓練を兼ねて） ケーキ



支援プログラム作成までの流れ

お子さまに適したサービスを提供するために、ご利用開始後初回は3か月、その後6か月ごとに支援計画を作成しております。

お子さまのその時ごとの様子を確認し、保護者様のご意見を伺いながら一緒に長期的な目標を設定したうえで、サービス利用計画を元に支援計画を作成いたします。支援計画の内容は児童発達支援管理責任者より説明させていただきますので、確認後にご署名をお願いします。

「PDCAサイクル」と呼ばれる「PLAN（計画）」「DO（実行）」「CHECK（測定・評価）」「ACTION（改善・対策）」の流れを行います。

フェイスシート（親御さんにて）
アセスメントシート（初回）
モニタリング（面談にて）を元に

モニタリング（面談）

ご家庭や学校でのお子さまの様子について、お困りごとがあればお伝えください。また、お子さまの最近の興味や関心、できるようになったことなどもぜひお聞かせください。

